

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請書

令和7年9月12日、中国四国防衛局から、硫黄島において実施される予定であった米空母艦載機の着陸訓練（FCLP）が、火山活動の影響により所要の訓練が実施できないため、9月17日から同月26日までの間、米軍岩国基地において実施するとの通告を受けた。

県や地元市町では、これまでも、市街地に隣接する岩国基地において、FCLPのような激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は容認できないことを、あらゆる機会を通じて、国及び米軍に対して要請してきたところである。

しかしながら、こうした地元自治体の意向を無視し、今回、岩国基地においてFCLPを実施することは、日常的に航空機騒音に悩まされている基地周辺住民に、なお一層の負担を強いるものとなり、地元自治体として到底容認することはできない。

ついては、今回のFCLPを岩国基地において実施しないよう（米側に求めることを）〔※カッコ内は国向け〕強く要請する。

令和7年9月16日

駐日米国大使	ジョージ・グラス	} 様(各通)
在日米軍司令官	スティーブン・F・ジョスト中将	
在日米海軍司令官	イアン・L・ジョンソン少将	
米海兵隊岩国航空基地司令官	ケネス K・ロスマン大佐	
外務大臣	岩屋 毅	
防衛大臣	中谷 元	
中国四国防衛局長	深和 岳人	
岩国防衛事務所長	木下 恵介	

山口県基地関係縣市町連絡協議会

会長	山口県知事	村岡 嗣政
副会長	岩国市長	福田 良彦
	柳井市長	井原 健太郎
	周防大島町長	藤本 浄孝
	和木町長	米本 正明